

2007年4月24日



株式会社日本カードネットワーク

CARDNET、次世代ギフトカードの情報処理サービス開始

～4月19日より百貨店最大手の高島屋が次世代ギフトカードを業界初導入～

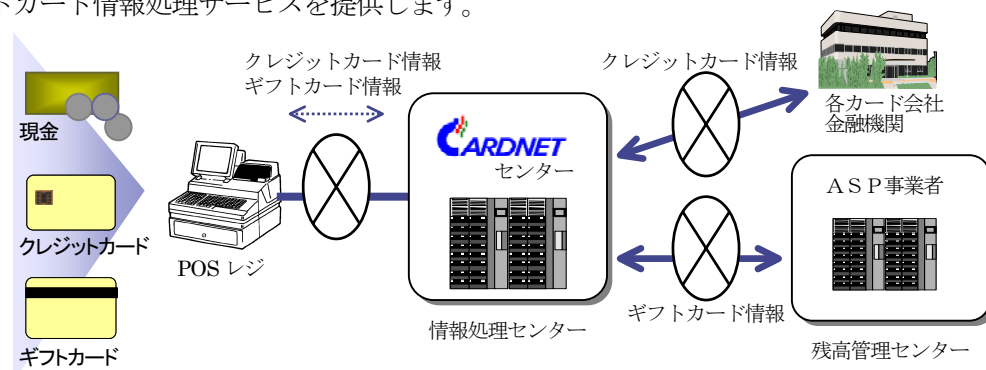
クレジット情報処理センター大手の株式会社日本カードネットワーク（本社：東京都港区、代表取締役社長：兼子 忠彦、略称：CARDNET）は、この度、クレジットカード情報の処理を行う「CARDNETセンター」において、現在米国で急速に普及している次世代ギフトカード（以下、次世代ギフト）情報の取り扱いを開始しました。これにより、クレジットカード決済を既に導入している加盟店（以下、加盟店）では、現金・クレジットカード決済を行うPOSレジの既存決済ネットワークを利用して、次世代ギフトの取り扱いが可能になります。

次世代ギフトとは、クレジットカードと同じプラスチック製のカードを利用した、従来の使いきりの紙製ギフトカードとは性質が異なるギフトカードです。残高やカードの有効性をASP事業者のセンターで管理することが可能で、その多機能性から、現在小売業を中心に販売促進ツールとして利用するなど、注目が高まっていました。

今回、百貨店最大手の株式会社高島屋（本社：大阪府大阪市、取締役社長：鈴木 弘治、以下、高島屋）が、百貨店としては業界初となる自社店舗で使用可能な次世代ギフトとして、当社の＜次世代ギフトカード情報処理サービス＞を採用し、4月19日よりサービスを開始しました。残高管理やカードの有効性を確認するギフトカードの残高管理はASP事業者が担当します。

CARDNETでは、次世代ギフトの取り扱いの際に発生する「残高照会」や「チャージ」「売上 取消/返品」などの決済情報を、クレジットカードの情報中継処理を行う「CARDNETセンター」を利用して、加盟店とギフトカードASP事業者の間の中継業務を行います。

当社サービスの特徴として、加盟店は既存のクレジットインフラを利用して次世代ギフト対応を行うため、システム開発負荷が抑えられます。またASP事業者は、CARDNETと接続することで、今後利用加盟店が増加してもシステムの初期整備が大幅に軽減されます。既存インフラを有効に活用しながら、顧客サービスの拡充を目指す各社の意向を踏まえて、当社は次世代ギフトカード情報処理サービスを提供します。



CARDNETは、今後もPOSレジの他、スタンドアロンタイプの当社クレジット決済端末（JET-S端末）を利用した次世代ギフト処理への対応など、クレジットカード決済を取り巻く市場の多様なニーズに応え、安心・安定したサービスを提供できるようセンター運営ならびに開発に注力してまいります。

以上

【CARDNETの概要】

クレジットカード会社（約110社）・金融機関と加盟店（約1,100社）との相互間で、クレジット情報（与信照会、売上など）および資金移動情報（デビットサービスなど）のトランザクションを中継し、また加盟店に設置した約40万台のクレジット処理端末機と接続する、決済情報処理ネットワーク会社です。今後、ますます急速に拡大していくクレジットカード決済市場に対応すべく、センターの安定稼働ならびにインフラ整備に邁進し、顧客サービスの向上とさらなる高品質の展開に努めてまいります。

■会社名

株式会社日本カードネットワーク

■設立

1995年3月 設立

■代表者

兼子 忠彦

■資本金

4.8億円

■所在地

- ・本社 東京都港区南青山5-1-22 青山ライズスクエア
- ・大阪支社 大阪府大阪市中央区北浜東4-33 大阪大林ビル
- ・名古屋支店 愛知県名古屋市中区大須4-10-32 上前津KDビル

■主な業務

- ・クレジットオーソリゼーションデータのオンラインスイッチングサービス
- ・クレジット関連の売上データ等のバッチ受配信サービス
- ・クレジット処理端末機の開発、販売、運用サービス

<報道関係者からの本件に関する問合せ先>

株式会社日本カードネットワーク 経営企画室 北村・二宮

Tel : 03-5778-8402 CARDNET ホームページ : <http://www.cardnet.co.jp>